

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先 市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878



立正安国論

の予言

記したのが
立正安国論



「二六〇年(文応元)七月、立正安国論」といふ書を著り、当時の鎌倉幕府の最高実力者であった北条時頼に提した。北条時頼に提した。正嘉年間(一二五七〜五八)から東日本では地震、疫病、飢饉といった天変地災が相次いだ。鎌倉を拠点として精力的な布教活動を行っていた日蓮は、この状況を憂へたりにして預言の危機意識を吐き、仏典を繕きながらその原因について思索を巡らした。その結果、支那が頻発する根本原因は正しい仏法が廃れ、悪法が流行して、仏教界の混乱にあるという結論に達した。このような認識にもとづき、その具体的な改善策を



11日宿泊は、久遠成院山岸之坊。室内廊下は、カカカ整理整頓一般旅籠より、上の野良屋敷は、正通。身延山本堂へ急階段

日蓮聖人御墓
 祖廟塔
 拜殿の正面に厳然として建立されてきた。現在の石造八角の御塔は、旧来の木造八角の御塔に模して建造されたもので、昭和五年(一九三〇)六月五日、同十七年(一九四二)月に竣工したもので、創建当時の御舍利を安んじた五輪塔の御墓も塔中に祀られてある。

奥之院思親閣は弘安六年(一〇八三)六老僧日朗二人が山頂近くに御堂を建立したことに始まる聖地

